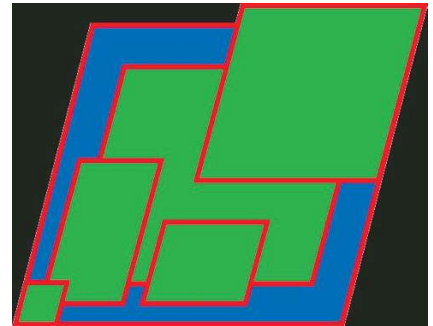




労働災害撲滅に向け 各級機関と連携図る

24年11月末現在、12り組みを一丁目一番地構成総連、構成組合2とし、労働災害撲滅に39組合、組織人員19向け、安全衛生委員会万5千名の組織となつています。職場を原点とした活動を大切に、働く仲間の連帯の輪を強めながら、雇用

24年11月末現在、12り組みを一丁目一番地構成総連、構成組合2とし、労働災害撲滅に39組合、組織人員19向け、安全衛生委員会万5千名の組織となつています。職場を原点とした活動を大切に、働く仲間の連帯の輪を強めながら、雇用災害発生傾向の分析を

また、電力関連産業を取り巻く情勢が大きく変化し、事業環境が一層厳しさを増す中において、働く仲間の雇用の安定や「現場力」の維持・強化を通じて、健全で持続可能な産業の発展が図られるよう、各構成総連・加盟組合と連携のもと、産別大の課題解決に向け取り組んでいます。

全国電力関連産業労働組合総連合（電力総連）は、10の地域別組織と2の職域組織で構成されており、発電、電気設備の工事・保守のほか、交通、情報通信、サービスなど多

の安定はもとより、働きの安全衛生の確保や総合的な労働条件の向上、社会貢献活動、さらには国際活動などに積極的に取り組んでいます。1981年の結成以来、単一産別化、全電力統一を果たし、20

社で発生している状況にあります。現在は職場組合員の安全意識向上の取り組みに加え、未組織の働く仲間の災害を防ぐ観点からも、組織化に向けた取り組みの強化を図っています。

具体的には、慢性的な電力の供給力不足や電力コストの高騰など電力関連産業が直面する事態に対して、働く者の立場から現実的なエネルギー政策の構築に向け、関係方面に対する意見提起を行って

ります。加えて、深刻化する人手不足へ対応すべく、適正な価格転嫁や適正工期の確保など、電力関連産業の魅力向上に資する取引環境の適正化の取り組みを進めています。

引き続き、「仲間を守る」「仲間を増やす」「仲間と共に闘う」を念頭に運動を展開していきます。